

木之本警察署協議会議事録

開催日時	令和4年6月21日（火）午後2時～午後5時15分	
開催場所	木之本警察署 3階会議室	
出席者	委員	吉田源市委員、織田しげみ委員、雨森茂昭委員、瀧川眞吾委員 岡島義孝委員
	警察	署長、次長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警務係長、警備係長
議事概要	<p>1 署長挨拶</p> <p>署長から「警察署協議会は、警察署長が、警察署の業務運営に民意を反映させるため、住民代表の皆様からの意見を聴くための機関である。安全・安心なまちづくりに向け、署員一丸となり取り組む所存である。本日は、警察業務への理解を深めていただき、警察活動に対する忌憚のない意見等をお願いする。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 警察署協議会の概要説明</p> <p>3 委員及び警察幹部の自己紹介</p> <p>4 会長及び副会長の選出</p> <p>委員の互選により、会長に吉田委員が選出され、吉田会長より、副会長に織田委員が指名された。</p> <p>5 鑑識作業の展示及び体験</p> <p>6 会長挨拶</p> <p>会長から「委員の皆様には、各分野から選出された住民の代表として、警察署の業務に対する建設的な意見等を積極的に発言していただき、警察にあっては、その発言の中で、新たに警察の業務に反映できそうなもの、すでに行っている活動にひと工夫加えて反映できそうなものを提言として捉え、これを具体的に日々の活動に反映し、結果又は進捗状況を報告していただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>7 協議</p> <p>(1) 前回協議会における意見等への対応結果について</p> <p>前回の協議会において委員から意見があった、感応式信号機の看板設置、トンネル内の最低速度表示、信号機の積雪対策、トンネル内の高さ、最大幅</p>	

制限変更における超過車両の取締りについて警察から報告があった。

(2) 管内情勢及び取組状況について

警察から、犯罪被害抑止対策等、地域安全運動、若手警察官に対する指導、山岳遭難救助訓練・防止啓発、初動対応訓練、刑法犯の発生・検挙件数、検挙事件、管内の交通事故発生状況、交通事故防止に関する啓発活動、交通安全教室について説明があった。

(3) 警察活動に対する意見・要望等

委員から「ヘルメットを着用して自転車に乗る小学生が減少している印象がある。命に関わることなので、地域でも着用のお話をしていくが、警察においても注意喚起をお願いしたい。」「中学校の先に横断歩道があり、その道路は速度30キロ規制となっているが、高速度で車両が通行するため危険である。」「ピワイチにおいて、急な下り坂ではスピードが出て危険であり、速度注意の啓発も必要ではないか。」「木之本町内でも過疎化、少子高齢化が進み、独居老人世帯も多くなり、緊急時の対応が困難である。独居老人の安全面の対応をいかにすべきかを自治会でも考えているが、警察の力を借りることはできないか。」「昨年までは市の防災無線で『小学生が下校する時間となりました。地域住民の見回り活動をお願いします。』などの放送が流れていたが、今年からは午後6時頃に子どもの帰宅を促す放送のみとなった。下校時の放送を復活するよう市に要望しているが、警察からも働きかけていただけないか。」旨の意見・要望がなされ、警察から「ヘルメット着用について交通安全教室で指導するとともに、警ら中にヘルメット未着用の自転車を見かけた際には、その都度、声かけしている。今後もあらゆる機会を捉えてヘルメット着用の注意喚起を行っていく。」「横断歩道における横断歩行者妨害の取締りを行うとともに、木之本地区については、思いやりゾーンに指定しており、朝夕の通学時間帯の警ら活動等を重点的に行っていく。」「県が推進している危険性も考慮したマップを作成・配布しての啓発や、パトロール中に高速度の自転車を見かけた際には声をかけ、注意喚起をしている。」「警察活動を通じ独居老人の特異事案を把握した際は、その結果を民生委員などとも共有していく。」「下校時間帯の放送については、市に問合せを行う。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から「小学校で自転車教室が毎年行われているが、継続することは大事だと感じた。警察においても啓発活動を地道に継続していただ

きたい。」「先日、滋賀銀行のATMにおいて、啓発活動を行っている警察官を見て感謝している。引き続き、高齢者に対する特殊詐欺被害防止啓発や中学生に対する薬物乱用防止教室をお願いします。」旨の発言があった。

8 次回協議会日程

令和4年9月中旬に開催されることとなった。